

70th
anniversary

since 1953

香川県文化財保護協会
記念事業

知ることで輝く地域の宝
讃岐遺産物語

香川県文化財保護協会は昭和28年に設立し、令和5年に70周年を迎えます。

地域の歴史や文化を知ること、これまでとは異なる地域の輝きに気づくことができます。その輝きを守り、磨く活動を続けてきました。この思いと活動を未来へと引き継いでいきたいと願い、記念講演会を開催します。

香川県文化財保護協会

・県内に12の支部を設置

(各支部：高松、丸亀、坂出、善通寺、観音寺、さぬき、東かがわ、三豊、小豆、木田、綾歌、仲多度)

・会員数は1500名（県保護協会年会費：600円）

入会方法は県事務局までお問合せください。

香川県文化財保護協会

問い合わせ：香川県教育委員会事務局生涯学習・文化財課内（香川県文化財保護協会事務局）香川県高松市天神前6-1 | 電話：087-832-3786 | 担当：石田、青野

第1回目

5月13日(土)
 会場 披雲閣大広間
 時間 13:30~16:00
 講師 大嶋 和則氏
 (高松市文化財課)



お城ってなんだろう 高松城で考えよう —文化財を調べ守り伝え楽しむために—

お城って何だろう。高松城で考えてみませんか。高松城について、解説とクイズでイメージを膨らませ、疑問のメスで高松城を解剖して、自分のお城を築いてみてください。また、調査をすることの意味、保存や修復を行い、後世に守り伝えることの大切さを考えてみましょう。そして何より、当時の知恵や工夫を知ることの楽しさや、文化財の楽しみ方を家族や友達と話し合ってみてください。



国指定史跡 高松城跡

第2回目

8月5日(土)
 会場 観音寺市民会館
 時間 13:30~15:30
 講師 胡 光氏
 (愛媛大学教授)



西讃の霊場と遍路文化

1200年の歴史を有する四国遍路は、今もなお多くの人々を四国へ誘い、地域の人々もお接待で迎える、生きた四国の文化です。本年は、弘法大師生誕1250年にあたり、四国遍路への関心もさらに高まっています。観音寺・三豊地区には、5つの札所があり、札所以外にも数多の霊場があります。霊場成立の背景と大師生誕地の諸説にふれながら、この地域の歴史文化の特徴について考えてみます。



遍路文化

第3回目

9月9日(土)
 会場 善通寺市民会館
 時間 13:30~15:30
 講師 笹川 龍一氏
 (元善通寺市教育部長)



空海のふるさと 弘法大師誕生の歴史的環境

古代の讃岐、多度郡を治めていた豪族佐伯氏に誕生した空海は、宗教家としてのみならず、あらゆることに秀でた天才的な人物でしたが、生まれた時から天才的な存在ではありません。当時の豪族は水田稲作をはじめ、土木技術など最新の知識や技術を持っていました。優れた豪族に誕生した才能豊かな子供の周辺には、彼が偉人として育つ驚くべき環境が整っていたのです。これまでに善通寺市周辺で確認された資料をみると、新しい空海像が見えてきます。



空海誕生地 善通寺

第4回目

11月25日(土)
 会場 農村環境改善センター
 時間 13:30~15:30
 講師 川北 康伸氏
 (株)ダイコープロダクト
 代表取締役社長



400kgの圧力に耐える手袋と歴史

東讃の手袋産業は明治時代に棚次辰吉によって始められました。戦後はビニール手袋で業界は栄え、その後製造の拠点を外国に求めたり、手袋の種類もスポーツ用品やブランド品へと広がっていきました。歴史的価値のある手袋の製造機械などは文化財となっているものもあります。

現在、東讃の手袋製造会社では、既成概念にとらわれない新しい手袋の製造に取り組まれています。その1つに耐圧手袋、耐熱手袋そして突き刺し防止手袋などがあります。



耐圧作業用安全手袋